

キャラクター名
セオドア・ヴィンセント

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	レネゲイド研究所所長
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	29	性別	男
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	32	%
出自	海外生活	経験	仲間の死	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	3	1	1			5	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	3	1
回避			知覚			意志	1	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識: 隠れ対	1		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
ボイスチェンジャー	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
優しい奇跡	P	N		
霧谷雄吾	P 尽力	N 疎外感		
ジャーム化した友人	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
盲目の羊	5	3	オート	至近	単体	RC	-	
効果: 対象が判定を行う直前に使用、その判定ダイス-[Lv+1]個、1R1回まで								
コンセ: ソラリス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-2								
抗いがたき言葉	5	2	メジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: 射撃攻撃を行う、命中した場合、そのシーン間対象が行うあらゆる判定のダイスを-Lv個する								
ヘブンズアイ	1	4	オート	視界	単体	自動	80%	
効果: 対象が判定を行う直前に使用、その判定の達成値を+10する、あなたは5点のHPを消費する、1シーン1回まで								
デビジョン	1	1d10	オート	視界	単体	自動	Dロイス	
効果: 対象へのHPダメージが算出された直後に使用、そのHPダメージを1/2(端数切捨て)する、ただし軽減したダメージと同じだけあなたはHPダメージを失う、1シナLv回まで								
天使の外套	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 表に出なければいけない時は良く支部員誰かの姿になっている								
声なき声	★	-	メジャー	視界	シーン選択	自動	-	
効果: もしもし...聞こえますか...あなたの心に語りかけています								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

エンジェルハイロウ×ソラリスのクロスブリード
敵に対する妨害を主とするが、味方の能力の底上げとダメージを少しだけ軽減する能力がある
CNの《奇術師》は不可能を可能にするという意味合いから
「チャニング」はかつて名を馳せたチャニング・ポロック/Channing Pollockから貰っている

セオドアは「神の贈り物」を意味する男性名、
名前表記は「Theodore Vincent」
短縮形はセオ(Theo)
愛称はテディ(Teddy)、テッド(Ted)など

見た目は全く分からないが、洋服からおしゃれな印象を受ける
また出身はアメリカ
背は大きい様で、扉をくぐったり頭をぶついたりしている

支部の表向き顔は公設試、そこそこ広い(多分ビルみたいな見た目なんだろう)
中では様々な部門の研究がなされており、主にレネゲイドに関する研究を行うUGN支部
責任者として名前が上がってはいるが、表社会にはあまり姿を見せないで、謎に包まれている
どうしても表に出なければいけない時は、支部員の誰かの姿をEE《天使の外套》で借りている(普段、声を変える事は無い)
その為、たまに「ドッペルゲンガー」の噂が流れるが、噂程度の事なので特に気にしていない

かつて、親しいチルドレンが居た
「彼女」は数少ない理解者の1人